



腎尿管摘出術/膀胱部分切除術を受けられる

様へ

パスコード:13023-01 世代:0

経過	入院(手術前日)	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4-6日目	術後7日目	術後8日目	術後9日目	退院後の診察
月日	(月 日)	(月 日)	(月 日)							退院日(月 日)	(月 日)
達成目標	手術に必要な処置を受ける事ができる。 手術に必要な前準備が理解でき、守ることができる。	不安なく落ち着いて手術を受けることができる。	安静を守ることが出来る。 術後の状態が安定している。	血尿がみられない。 バルンカテーテルが閉塞しない。	食事開始後吐き気や腹痛がおこらない。	問題無く離床できている。	傷口が赤くない。 熱がでない。 尿の管が抜去できる。			退院おめでとうございます 退院することができます。	療養生活 が 継続できる
治療・処置・検査・薬剤(点滴)	持参薬の確認をします。 中止指示のあるお薬を飲んでいないか確認します。 日中と寝る前に下剤を飲んでいただきます。 	*手術日時 年 月 日 時 の予定です。 指示された薬のみ少量の水で飲んで下さい。 朝に浣腸があります。 	血圧計・酸素マスク・心電図のモニターを装着します。 血栓予防の靴下を装着します。 手術中痛み止めの細いチューブが背中に入る事があります。 手術中ドレーンという細い細い管がお腹から入ります。	かわりなければ血圧計・心電図モニター酸素マスクを外します。 薬の内服を再開します。(抗血栓薬以外です)。 内服の再開は主治医の指示により変更する場合があります。 採血があります。	痛み止めが無くなったら背中の管を抜きます。(背中から痛み止めのチューブが入っている場合) 食事を半分以上食べられるようなら夕食後に点滴が外れます。 問題がなければ、ドレーンが抜けます				退院後注意する事や症状が何であるか理解できる。 創部の治癒が良好である。 創部が赤くなったり、熱が出たりしない。		
安静度	特に制限はありません。		ベッド上安静です。 体の向きを変える際は看護師を呼んで下さい。	医師の診察後、看護師が見守りをし、ふらつきなく歩くことが出来るか確認します。	特に制限はありませんが、チューブ類が入っており、痛みもありますので、無理せず看護師を呼んでください。						
食事	特に制限はありません。 	飲水可能時間 手術時間で違います 08:45 - 12:59... 6時まで飲水可 13:00 - 16:00... 10時まで飲水可 16:00... 13時まで飲水可 手術時間は看護師から説明があります 当日朝から絶食です。	飲水食は禁止です。	食事は禁止です。 飲水が開始となります。	食事は昼から術後食が開始となります。(排ガスの確認をします) 						
清潔	お風呂に入ります。 場合により切毛をします。	手術当日は控えて下さい。		体拭きをします。	ドレーンが抜ければシャワーに入れます。					入浴する事ができます。	
排泄	尿量の測定・記録をして下さい。		手術中に尿の管が入ります。 便は差し込み便器でとりますので排便はお知らせください。	尿の管がはいっています。 排便時は歩行が安定していれば室内のトイレで排泄できます。			問題が無ければ尿の管が抜けます。				
患者様及びご家族への説明	主治医より入院・治療について説明があります。 麻酔科の医師による診察・麻酔に関する説明があります。 手術室看護師の訪問があります。 お名前確認のためネームバンドを付けます。 看護師より手術までの流れに関する説明と必要物品の確認をさせていただきます。 用意するもの ・ビニール袋2枚(靴と寝衣を入れます) ・テープ式の紙おむつ1~2枚 ・前開きの肌着(着用希望時) ・吸い飲みまたはストロー 手術する側に印をつけます。 入院・退院について心配あれば相談して下さい。	必要物品はベッドの上にとめておいて下さい。 弾性ストッキングをはきます。 寝間が汚れていなければ、着替えはせず、排尿をすませてお待ち下さい。 コンタクトレンズ・腕時計・指輪・ヘアピン・かつら・入れ歯・アクセサリ等は外して下さい。 手術室で術衣に着替えてから入室します。 貴重品は必ず家族の方へお預け下さい。 *ご家族の方にはポケベルをお渡しします。 *ご家族の方は2階の「家族待合室」または病室でお待ちください。 	徐々に麻酔から醒めてきます。それと同時に痛みや管の違和感を感じる事があります。 その際は遠慮せずナースコールを押して下さい。 痛みを和らげるお薬を使います。	管をひっぱったりしないよう気をつけて下さい。 歩行が可能となりますが主治医指示により安静度は変更される場合があります。	痛み止めが無くなると、痛みが出てくる事があります。遠慮なく教えて下さい。 食事を食べた後で気分不良などないか、注意して下さい。		尿の管が抜けた後は、尿量の記載を再開してください。 管を抜いた後の最初の尿は、看護師に見せるようにしてください。 残尿感があれば、おしっこが膀胱に残っていないか簡単なエコーの検査をします。 退院について不安・質問などあれば、遠慮なく医師・看護師にお申しつけ下さい。		退院後の療養生活上の留意点 出血を予防するため以下の事に注意して下さい ・熱いお風呂(40度以上)に長時間(2-30分以上)入らないで下さい。 ・激しい運動は控えて下さい。 ・飲酒は控えてください。 上記のことは次回外来受診まで注意し、受診時主治医にご確認ください。 尿の色や出具合に注意して下さい ・尿に酷く血が混じった。 ・おしっこが出ない、出にくい。 等あれば外来受診して下さい。		

注)この予定表は現時点で考えられるものであり、検査、治療、内容や入院期間等は病状にあわせてその都度変更する場合がありますのでご了承下さい。